

粉飾・横領を早期に見抜く 不正会計の兆候把握と発見のポイント

～不正・誤謬を早期に発見し、経理業務のリスク管理体制を向上させる～

□日 時：2019年 8月23日(金) 10:00～17:00 (6H)

□講 師：公認会計士

津 田 佳 典 氏

□会 場：本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)

□主 催：一般社団法人日本経営協会

大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□開催にあたって

近年、企業におけるガバナンスの強化は経営上の重要課題の一つですが、日本を代表するような大手企業をはじめ、不正事件の発覚は枚挙に暇がありません。そのなかでも、粉飾や横領といった会計不正は、その実態がますます高度化・複雑化しているうえ、いったん発覚すると、業績への影響に留まらず、企業の社会的信用の失墜にも至るなど経営に与えるダメージは計り知れません。

本セミナーでは、実際に発覚した会計不正の事例分析を通じて、不合理な会計処理を見抜く視点を身につけていただくとともに、実効性のある予防策と対処法について、内部統制の視点も交えて解説いたします。財務・経理部門はもとより、内部監査部門や内部統制評価担当者にもご活用いただける内容となっておりますので、この機会に関係各位の積極的なご参加をおすすめ申し上げます。

講師紹介

公認会計士

津 田 佳 典 氏

平成7年大阪市立大学商学部を卒業し、中央監査法人(後のみずぎ監査法人)に入所。監査業務の他、連結決算早期化等の各種プロジェクトにも参加。平成19年にあすかコンサルティング株式会社代表取締役就任。現在は、連結決算・グループ会社経営管理等のコンサルティング業務に従事する一方、企業の社外役員や企業向けセミナー等の講演活動でも活躍中。

■ 申込要領 ■

参加料：
(1名につき)

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

申込方法：裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送又はFAXにて下記へお申込みください。追って、参加料と振込口座名を記載した請求書をご派遣責任者までお送りします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください)
 ●領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
 ●電話では、ご予約のみ承ります。(後日、必ず申込書をご送付ください)
 ●振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

キャンセルについて

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日まで連絡なく欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

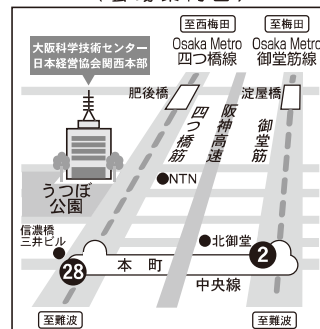
そ の 他：

- 教材は原則として当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影は原則としてお断りいたします。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

お申込・お問合せ先：一般社団法人日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：佐々木

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma.or.jp/kansai/>
TEL 06(6443)6962(ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
 ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 ■新大阪方面よりお越しの場合
 ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
 ■なんば方面よりお越しの場合
 ▶四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
 ▶御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

1. 不正会計の概要と動向

- (1) 不正会計とは？（粉飾決算と資産の流用）
- (2) 上場企業等における不正会計の動向
- (3) 不正会計に対する誤解
- (4) 不正会計が発生する状況とは？
（不正のトライアングル）

2. 不正会計リスクにどのように対応するか

- (1) 不正リスク対策の4つのステップ
- (2) 内部統制報告制度(J-SOX)は有効か？
- (3) 全社的な内部統制における課題
- (4) 子会社管理に関する内部統制における課題
- (5) ITの利用と関連する内部統制における課題
- (6) 主要な業務プロセスに関する内部統制における課題
- (7) 内部統制の有効性の判断

3. 不正会計の兆候と発見手法

- (1) 不正会計の早期発見の必要性
- (2) 不正会計を発見するための手順（プロセス）
- (3) 不正会計の兆候を示す状況
 - ・ 証拠の矛盾及び紛失
 - ・ 監査(調査)への対応
 - ・ 通例でない取引
 - ・ 会計記録の矛盾
 - ・ その他の事項
- (4) 事実確認における注意点

4. 不正会計を発見するための財務データ分析（ケーススタディ）

※電卓をご持参ください

FAX (06)6441-4319 一般社団法人 日本経営協会・関西本部企画研修グループ（佐々木）宛

NOMA	「不正会計の兆候把握と発見のポイント」参加申込書（3603）	2019. 8/23 32, 400/37, 800
（フリガナ） 会社名： 団体名	TEL（ ） — FAX（ ） —	ご派遣責任者：
（フリガナ）（〒 ） 所在地：		所属・役職：
参加者氏名	所属・役職名	●お支払い方法 } 通信欄 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> その他
（フリガナ）		
（フリガナ）		
（フリガナ）		ご請求先（ご担当）
※Eメールで本会セミナー情報をご案内いたしますので、アドレスをご記入ください。 }		（ご所属）

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
 ①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要